

令和元年度ゆざわ小町商工会 戦略・施策・事業評価結果の概要

令和元年9月27日

ゆざわ小町商工会

1 評価の実施

▷評価方法

評価は、アクションプログラムの5つの戦略、8つの施策、25の事業について進捗状況を把握し問題点を解決するために効果的に実施要領に基づき、数値目標の達成度等を一定の基準に照らし自ら毎年度実施します。また評価結果については商工会理事(役員)会で報告し、役職員が一体となり今後あるべき姿に向かって、改善点を今後の活動に反映させ常に見直しを重ねて、事業者の企業力向上に貢献しアクションプログラムを推進につなげていきます。

2 評価結果の概要

▷評価結果

戦略・施策・事業評価の結果は、次の通りです。アクションプログラム全体としては一部未達成の施策等もありましたが、組織の財政面を強化したことにより、安定した商工会運営が可能となり、今後さらに個社支援に力を入れる基盤が整備されました。

戦略評価:5戦略	A(順調)0戦略	B(概ね順調)1戦略	C(一部未達成)4戦略
----------	----------	------------	-------------

5戦略は、事業評価において未実施、目標数値未達成、今後実施する事業等の評価においてC評価が大半を占めた結果となりました。「環境変化に強い商工会」戦略において、財政面での充実を図ったことがB評価につながりました。

施策評価:8施策	A(順調)0施策	B(概ね順調)1施策	C(一部未達成)7施策
----------	----------	------------	-------------

8つの施策では「商工会活動強化のための中長期財政運営計画の策定」施策で自己資本比率が向上し、財政面に貢献しました。

事業評価:25事業	A(順調)2事業	B(概ね順調)9事業	C(見直しが必要)14事業
-----------	----------	------------	---------------

25事業では29年度実施した事業者データベースを活用した個社支援・チーム支援を重点的に実施した結果、各種補助金申請において採択率が向上しました。

また役職員一体となった会員加入促進を展開し新規会員39件の実績となりました。「引当金積立計画の策定」事業は、財政運営積立預金を300万円積み増しができました。

▷評価結果の活用

評価結果は、今後アクションプログラムを推進していくうえで検証結果の材料として反映させ、次年度以降商工会事業の企画・立案に活用します。